

太閤はんの時代を読み解く

—豊臣秀吉と大阪の記憶—

【会場】	関西大学 千里山キャンパス
【日程】	6月3日・6月10日・6月17日・6月24日（予備日7月1日）
【時間】	10:40～12:10
【定員】	200名（多数抽選）
【受講料】	500円（全4回）

6月3日（水） 『豊臣期大坂図屏風のデジタルコンテンツ制作』

総合情報学部
井浦 崇 教授



豊臣秀吉が築いた大坂城は豪華絢爛と伝えられていますが、大坂夏の陣で落城。その後、徳川は豊臣大坂城跡を石垣ごと地中に埋めてしまいました。そんな豊臣期の大坂城が描かれた絵画はごく僅かで、その中でも近年発見された「豊臣期大坂図屏風」は大変貴重な史料です。ところがこの屏風はオーストリアの世界遺産建築の壁面に固定されて日本で見る事ができないため、様々なデジタルコンテンツを制作して研究成果を紹介しています。

6月10日（水） 『城郭における地震対策』

環境都市工学部
西川 英佑 助教



武将たちが砦となる城郭を全国各地に構えていた戦国時代、我が国では大きな地震が頻発していました。そしてその城郭が文化財となり多くの人が観光に訪れる現在、また大きな地震が増え始め、今後もその発生が心配されています。本講座では、戦国時代から現在に至るまで、全国の城郭においてどのような地震被害が発生し、各時代の人々がどのような対策を行ってきたかを紹介します。

6月17日（水） 『豊臣秀吉の寺社政策と方広寺大仏』

文学部
原田 正俊 教授



豊臣秀吉の生涯は、度重なる合戦と立身出世の様相で語られがちですが、天下統一を果たしてからの政策が重要です。本講座ではそのなかでも、中世以来強大な力を持った寺社勢力に対する政策を中心に検討していきます。さらに、秀吉が力を入れた東山方広寺大仏造営の歴史的な意義を考えていきます。また、秀吉の側近として活動した僧侶についても紹介していきます。

6月24日（水） 『「太閤はん」と庶民の夢～立身出世と東京ざらい～』

社会学部
永井 良和 教授



「太閤はん」は、大阪人が敬慕し愛してやまない人物でした。裸一貫から才覚と愛嬌で出世を果たし天下をとる物語に多くの商人が夢を重ね、起業家も「太閤はん」を人生の手本にしてきました。東京への対抗心を燃やしながら、ホンネや人情を大切に人びとの暮らしが大阪の街に根づいたのです。——と、かつては言われたのですが……。いまの若い世代は「太閤はん」を知りません。この変化について、考えてみたいと思います。

お申し込み・お問合せ

申込期間

2026年 4月24日（金）～ 5月25日（月）

※手話通訳は5月22日（金）まで。はがき申込は期日必着。

※受講決定通知は締切日以降にお知らせします。

申込方法

下記のいずれかの方法にて、1名様ずつお申し込みください。

●吹田市電子申込システム

右図二次元コードから必要事項を入力して申請し、
受付完了メールが届いたら、申し込み完了です。



●往復はがき ※期日必着

下記必要事項を記載のうえ、まなびの支援課へお送りください。

宛先：〒564-0027 吹田市朝日町3番415-1号 まなびの支援課

【必要事項】

講座名	第55回生涯学習吹田市民大学 関西大学講座
住所	〒
氏名（ふりがな）	
電話番号	
年齢	
手話通訳の有無	

- ・講座当日の午前6時時点で、大阪府下に暴風警報または特別警報が発令された場合は休講といたします。
また、自然災害等の事情により、当日やむを得ず中止となる場合がございます。
なお、休講・中止の際の連絡はいたしませんのでご了承ください。
- ・お申込み時にいただいた個人情報は、本講座の名簿の作成及びご案内の連絡にのみ、使用いたします。

お問合せ

吹田市教育委員会事務局 地域教育部 まなびの支援課

TEL：06-6155-8264

Eメール：sgmanabi@city.suita.osaka.jp

